

GREE株式会社
東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
<http://corp.gree.net/jp/ja/csr/>

2019年9月発行

OUR ACTIONS

CSR Report

VOL.06



グリーができること、グリーだからこそできること。

「インターネットを通じて、世界をより良くする。」
グリーは、日々このミッションを追求しています。

インターネットは、世界中の人が自由に遊び、自由に学べるステージ。
そこでは、誰もが「なりたい自分」になって、発見や喜びを共有することができます。
グリーは、そうしたコミュニケーションの可能性を引き出し、あたらしい価値を創造していきたいと考えています。

より便利で豊かな社会へ。人々の笑顔が広がる世界へ。
「グリーだからこそできること」を通じて、これからも社会に貢献する新たな“ACTION”を起こしていきます。



■ **インターネット産業の強化と発展**
2018年度「千葉大学×グリー」共同授業レポート P.04

■ **安心安全なインターネット社会の構築**
福岡県警察学校で啓発講演 P.06

■ **[グリー CSR活動の歴史]**
「インターネットを通じて、世界をより良くする。」 P.08

■ **企業市民として社会の発展に貢献**
グリー緑づくりプロジェクト P.10

2018年度「千葉大学×グリー」共同授業レポート 小学校で「VTuberお悩み相談会」開催！



グリー × 千葉大生 千葉大学の学生に「VTuber」の授業

小学校の授業をリードする大学生に、白井ディレクターがVTuberの概念や最新技術、教育への活用法について講義。この技術によって表現の可能性が広がることを説明しました。



グリー × 小学生 小学校の児童がスマホで「VTuber体験」

白井ディレクターが小学生に「VTuber」について説明。スマートフォンでアバターをつくる体験もしました。児童たちは大盛り上がりでした。

「新技術×エンタメ×学び」が生み出す “あたらしい表現のかたち”

グリーでは、ゲームを中心とした「エンターテインメント」を活用した社会貢献を行っています。その取り組みのひとつとして、2013年度から、「教育の情報化」を担う教員の育成を目的に、千葉大学教育学部 藤川大祐教授と共に、大学生が取り組む研究授業をサポートしています。

2018年度のテーマは「VTuberで表現力を伸ばす」。グリーがVTuber技術に関するノウハウや機材を提供し、千葉大学の学生たちが研究授業を企画、附属小学校の児童たちに向けて授業を行う取り組みです。

4か月間の授業の中で、6年生の児童たちは「VTuber」で表現することを学び、その集大成として、下級生である4年生のお悩みにこたえるという「相談会」を開催。大学生と共に、パソコンや校内放送システムを駆使し、ライブ配信型の授業を成功させました。

VTuber＝キャラクターになりきることで、表現する楽しさを学んだ児童たち。そしてVTuber技術を教育に生かすという試みに挑んだ大学生たち。エンターテインメントの可能性を教育に生かす今回の試みは、「新技術×エンタメ×学び」の新たな可能性を引き出したといえます。今後も、事業で培った技術を使って、教育への応用という取り組みを続けていきます。



授業を担当した大学生の声

- 自分たちでVTuber技術を学び、小学校児童とライブ配信をするなど作り手の立場を経験でき、学ぶことが多かった。
- 「VTuber体験を通じて表現力を高める」というテーマのもと、プログラムやシステムの設計、コンテンツの準備等とても大変だったが、この授業でしか学べないことも多く、ためになった。

参加した小学生の声

- VTuberなら伝えやすい。ふだんは伝えるのが難しいこともVTuberだとキャラになりきれて伝えることができた。
- これまで動画は見るばかりだったが、配信する楽しさや難しさ、苦労がわかった。



授業を共同プロデュース

グリーの最先端技術研究開発組織「GREE VR Studio Lab」ディレクター
白井 暁彦

VTuberの授業は、まさに現代版の人形浄瑠璃!?

日本には人形に心を宿して表現を行う芸能「人形浄瑠璃」があります。今回の授業で、子どもたちは最新のICT機器を使い、現代の人形浄瑠璃を実現したといえるでしょう。教育という分野で見ても、VTuberの可能性は大きく、いい事例になると思います。今後もVTuberの分野で最新の取り組みを行っていきたくと考えています。

VTuberとはバーチャルYouTuberのこと。YouTubeで動画の配信や投稿を行う架空のキャラクター（アバター）や、それを使って配信や投稿を行う人のことを指す

福岡県警察学校で啓発講演

未来の警察官が学ぶネットモラル



インターネットはすべて 自宅玄関の「外側」という意識で

グリーは、インターネットを利用したサービス・コンテンツの提供事業者として、すべての方に安心安全にインターネットを利用していただけるよう、環境づくりを進めてきました。そのひとつが、情報モラルをテーマにした啓発講演です。

インターネットは便利な道具である反面、使い方を誤ると、トラブルや犯罪につながるリスクがあります。そこでグリーは、2012年から各地の学校や企業、公的機関などで、インターネットの正しい利用法をお伝えする講演を実施、これまで全国で1,500回以上の講演を行っています。

2019年4月、福岡県警察学校で開催した講演では、約100名の警察官の卵たち

に向けて、実際の炎上事件を例に挙げながら、「なぜ個人情報が特定されるのか」「その情報がどのように拡散されるのか」といった内容を解説。若者が陥りやすいネットのリスクを学びながら、SNSやネットで絶対に失敗しない方法について、しっかりお伝えしました。

「インターネットはすべて自宅玄関の『外側』。そのインターネットに投稿するのは、自宅の玄関ドアにベタベタ貼っていくのと同じ」——日常でもネットでも、守らなければいけないルールやマナーは同じ、というメッセージに、警察学校のみなさんも真剣に耳を傾けていました。

こうした啓発講演のほか、グリーでは情報モラル教材、動画、アプリなどを作成し、小学生から大人の方々に向けて、インターネットリテラシー向上のための啓発活動を行っています。今後も安心

安全なインターネット社会の構築のために活動を続けていきます。

【講演を受けて】

福岡県警察学校
教務科長
紀井 純仁さん



警察官がSNSを私的に使用する場合、情報漏えい防止の観点から、一般の方よりも高い情報モラルが求められます。そこで、当校では年2回、採用されたばかりの若い警察官に対する啓発講演をしていただいています。様々な実事例とともに語られた、「インターネットは玄関の外側」という講師の言葉。我々がネットで迷ったときには、この言葉を判断基準にすべきことを知り、警察官として、そして私人として、ネットで絶対に失敗しない方法を学ぶことができました。

インターネットリテラシー向上のための取り組み

情報モラル教材

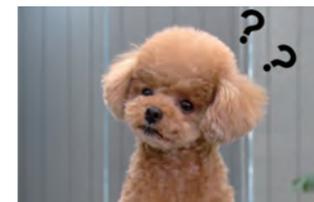
事例に学ぶ情報モラル



実際のネット炎上事例を題材に、インターネット上での発言やふるまいについて学べる情報モラル教材です。青少年の情報モラル・インターネットリテラシーの向上と、情報教育の支援に役立てることを目的に、中学生版、小学生版の2種類の教材を無料配布しています。

情報モラル動画

ティルと学ぶ 正しく怖がる
インターネット



「インターネットやSNSを使っているが、正しく使えているか不安」という保護者の声にこたえ、啓発講演の内容をもとにした大人向け動画を制作しました。人気タレント犬の「ティル」を生徒役に、「ネット・SNSで絶対に失敗しない方法」を、実話を交えたストーリーで学べます。

情報モラル啓発アプリ

魂の交渉屋とボクの物語
-Soul Negotiator-



スマートフォンを持ち始める中高生向けに、情報モラル啓発アプリを制作。共感しやすい世界観、キャラクターデザインを採用し、ゲーム感覚でネット上のいじめや依存、犯罪などのトラブルを疑似体験できます。2019年5月には、東京都初の推奨アプリに認定されました。



啓発講演 講師
小木曾 健

社会貢献チームマネージャーとして、インターネットの安心安全な使い方を啓発

自社サービスのパトロール責任者を経た後、インターネットの安心安全な使い方を啓発していく部門を立ち上げ、全国での無料出張講演、情報モラル教材の作成等を行っています。

「インターネットを通じて、世界をより良くする。」

インターネットを利用したサービス・コンテンツを提供するグリーは、「安心安全なインターネット社会の構築」「インターネット産業の強化と発展」「企業市民として社会の発展に貢献」という3つの柱でCSR活動を展開してきました。これまで、それぞれの分野でどんな取り組みをしてきたのかを振り返ります。

安心安全なインターネット社会の構築

情報モラル向上を目的とした講演実施、教材やアプリ、動画の作成を通じて、インターネットを安心安全に使っていただくための取り組みを行ってきました。

インターネット産業の強化と発展

大学との共同授業、ワークショップやプログラミング教室などを開催し、人材育成や地域社会と連携した取り組みを行うことで、インターネット社会の活性化に取り組んできました。

企業市民として社会の発展に貢献

障がい者の雇用促進、緑化への取り組み、募金や災害情報の提供など、社会の一員として社会をより良くするための活動や支援を行ってきました。

2006 24時間365日体制でのGREEサイト内パトロール開始



日記、コミュニティ、フォトなどの公開領域や、お客様間のメールについてパトロールを実施。違反となる投稿や迷惑行為などについて監視・検知・対応を実施。

累計講演回数
1,500回以上
累計講演受講者数
約40万人以上
(2019年7月現在)



2012～毎年 インターネット利用に関する啓発講演開始

情報モラルの向上を目指して、各地の学校や公共機関などで年間300回以上講演。

2013 ゲームで学ぶワークショップ
—「ワークショップコレクション9」ブース出展

2013 中高生向け情報モラル教材
「事例に学ぶ情報モラル」制作
2015年～小学校高学年版制作

2014年6月に、2013年度版情報モラル教材が「第9回消費者教育教材資料表彰」において優秀賞及び特別賞を受賞。



90万冊
の申込、配布
(2019年現在)

2015 「魂の交渉屋とボクの物語 -Soul Negotiator-」制作

2015年第12回日本e-Learning大賞において「ゲーミフィケーション部門賞」を受賞。2019年5月には、東京都初の推奨アプリに認定。



2018 保護者向け啓発動画コンテンツ
「ティルと学ぶ 正しく怖がるインターネット」をリリース



←動画はこちらから
ご覧いただけます。

2012 ソーシャルゲーム産業を高知県と協働で創出(「小悪魔の条件」)

2012 エンジニア向けのオープンな勉強会「GREE Tech Talk」開始

2013 「ゲームで変える学びの未来」ハッカソン主催

2013～毎年 千葉大学教育学部との共同授業
「メディアリテラシー教育演習」開講



主力事業である「ゲーム」の可能性を生かし、千葉大学の藤川大祐教授と共同で、同大教育学部の授業をプロデュース。現在に至るまで毎年行っています。

2014～2015 プログラミング教室
「プログラミングラボinロップンギ×GREE」(月1回)



2012 グリービジネスオペレーションズ株式会社(GBO)設立



障がいを持つ方が働きやすい環境を提供し、雇用の促進と安定に取り組んでいます。2014年「平成26年度障害者雇用職場改善好事例」奨励賞受賞、2016年(平成28年度)は優秀賞受賞。

2012～2013 2020年東京五輪招致公式パートナーとして協賛

2013～2016 「富士山クリーンツアー」に協賛・参加

2013～2016 「日経ソーシャルイニシアチブ大賞」に特別協賛

2016～毎年 「グリー緑づくりプロジェクト」



グリー社員とその家族によるボランティア活動を通じて、緑化につながる取り組みを実施。

グリー緑づくりプロジェクト

里山保全活動で都内の緑化に貢献



貴重な里山を守るため 間伐や植樹作業を実施

グリーは「企業市民として社会の発展に貢献する」という理念のもと、社員のボランティア活動を推奨しています。2019年5月12日には「グリー初夏の緑づくり2019」活動を実施しました。

ゴールデンウィーク明け最初の週末、

グリーグループ社員とその家族42名が東京都町田市の三輪里山を訪問。開発により失われつつある多摩丘陵の貴重な緑地帯で、木を間引く「間伐(かんばつ)」作業や階段づくり、植樹などを行いました。

ボランティア団体のみなさんに里山の歴史や手入れの必要性、間伐作業について教えていただいた後、作業スタート。想像以上の重労働に驚きながらも、みな熱心に

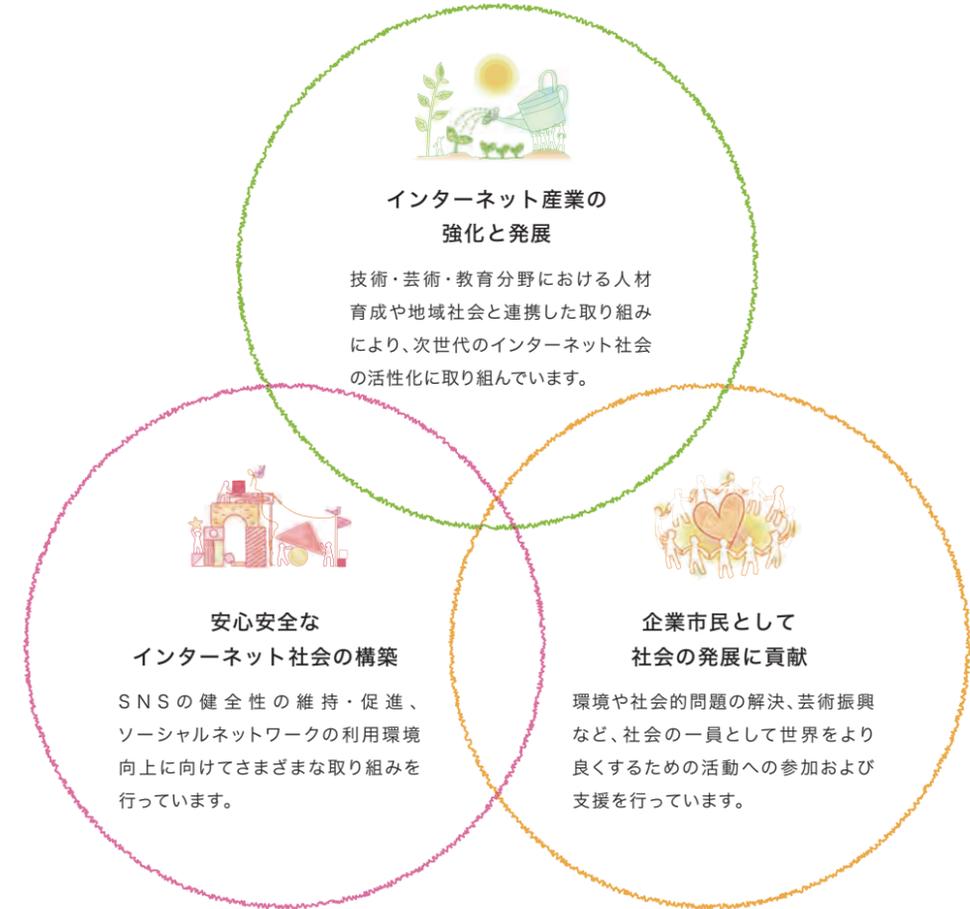
作業に打ち込み、自然の中で貴重な一日を過ごしました。

「緑づくりプロジェクト」は、ヤフー株式会社と共に実施した「楽しい公約プロジェクト」で、「都内にキレイな緑を2020本植えちゃいます」と、社長の田中良和が「公約」したことがきっかけで始まったものです。今後もグリーは社会の一員として、緑づくりや東京都の緑化に貢献していきます。

グリーが考える3つのこと。

グリーは、より良く社会に貢献できる姿を追い求める中で、3つの柱を設けています。

「インターネットを通じて、世界をより良くする。」という企業理念のもと、CSR活動を通じて、利益を社会全体に還元し社会との関わりを大切にしながら、社会の健全な持続的発展のために活動を続けていきます。



Top Message



グリー株式会社
代表取締役会長兼社長
田中 良和

「インターネットを通じて、世界をより良くする。」
そのために、グリーができること。

グリーは、「インターネットを通じて、世界をより良くする。」という企業理念のもと、CSR活動においては、自社の持つノウハウや利益を社会に還元し、社会の健全な発展のため企業市民の一員としての責務を果たしていきます。

現代はさまざまな技術やサービスが急速に普及し、社会が大きく変化しています。SNS「GREE」から始まった私たちの事業も、今はゲーム、ライブエンターテインメント、メディア、広告などの事業に拡大しており、社会に果たすべき私たちの役割・責任も、日々大きくなっていると感じています。

私たちは、多くのステークホルダーとの関わりを築きながらこれまで成長を遂げてきました。これからも企業市民の一員として、役割や責任を自覚し、インターネット産業の発展とさまざまな社会的課題の解決に対して継続的に取り組んでいきます。